



2010年フルクテンバウムセミナー

天使論、サタン論、悪霊論



講師：アーノルド・フルクテンバウム博士

通訳：中川健一

ハーベスト・タイム・ミニストリーズ

天使論

講師：アーノルド・フルクテンバウム博士

通訳：中川健一



ハーバースト・タケム・ミニストリーズ

目次

イントロダクション	1
Ⅰ. 天使の存在	1
Ⅱ. 天使の名前	2
Ⅲ. 天使の創造	4
A. 創造の事実	4
B. 創造の時期	4
C. 自らの性質に反する選べる力	4
D. 天使の地位	4
Ⅳ. 天使の数	4
Ⅴ. 住まい、活動範囲、現れ	5
A. 住まい	5
B. 活動範囲	5
C. 現れ	5
Ⅵ. 天使の性質	6
A. 知性	6
B. 感情	6
C. 意志	6
Ⅶ. 天使の本質	6
A. 創造	6
B. 天使の体	7
C. 天使の一団	7
D. 天使の特性	7
Ⅷ. 組織	8
A. 階級を示すタイトル	8
B. 天的存在の3つの階級	9
Ⅸ. 天使の働き	14
A. 神との関係における天使の働き	14
B. 啓示の仲介者としての天使の働き	14
C. メシアの生涯における天使の働き	14
D. 諸国の間における天使の働き	15
E. 不信者の間における天使の働き	15
F. 信者に関する働き	16
G. 天使の将来の働き	17
X. 天使の運命	18

イントロダクション

*天使論の3つの分野

天使論そのもの、サタン論、悪霊（墮天使）論

*天使についての誤った教え

神から出た一時的（あるいは永遠の）発散（放射）物

栄化した人間（死ぬと天使になる）

天使は存在しない（イエスは、当時の一般的な認識に合わせただけ）

*天使を表現する2つのタイトル

「選ばれた御使い」（the elect angels）（1テモ5：21）

「聖なる御使い」（the holy angels）（マコ8：38、ルカ9：26）

1. 天使の存在

*天使は存在するのか。

用語は273回出てくる。

聖書66巻のうち33巻に出てくる。

*旧約聖書

108回出てくる。

18の書に出てくる。

創、出、民、士、1サム、2サム、1列、2列、1歴、2歴、ヨブ、詩、伝、イザ、エゼ、ダニ、ホセ、ゼカ

*新約聖書

165回出てくる。

15の書に出てくる。

マタ、マコ、ルカ、ヨハ、使、ロマ、2コリ、ガラ、コロ、2テサ、1テモ、1ペテ、2ペテ、ユダ、黙

*イエスの教え

マタ13：39、41、49

マコ12：25

ルカ 12 : 8~9

ヨハ 1 : 51

5つの可能性 :

- ① イエスは誤解して（騙されて）いた。
- ② イエスは知っていて、嘘を教えた。
- ③ イエスは当時の一般的な認識に自分を合わせていただけである。
- ④ イエスの言葉ではなく、福音記者たちの創作である。
- ⑤ イエスは天使の存在を信じ、そのように教えた。天使は存在する。

II. 天使の名前

① 天使（旧新約に共通している）

* メッセンジャーという意味

人間が送る使い（創 32 : 3）

神が送る使い（創 32 : 1）：天使のこと

* 職務（メッセンジャー）と役割（奉仕）を表現した言葉

* 天的存在のすべてを指すが、一般的には下位の天的存在のことである。

* 職務（メッセンジャー）と役割（奉仕）を表現している例：ヘブ 1 : 7

② 神の子たち（旧約聖書のみ）（the sons of God）

* ヘブル語で「ベネイ・エロヒム」

* 常に複数形で、常に天使を指す。

創 6 : 2、4、ヨブ 1 : 6、2 : 1、38 : 7

③ 力ある者の子ら（the sons of the mighty one）

* 「神の子たち」と同じ意味

詩 29 : 1、89 : 6

④ 聖なる者たち（the holy ones）

* 詩 89 : 5、7

「聖なる者」（口語）、「聖徒たち」（新改）、「聖なるもの」（新共同）

* ダニ 4 : 13、17、8 : 13

「聖者」（口語）、「聖なる者」（新改）、「聖なる天使」（新共同）

⑤見張りの者 (watcher)

* 神の御心がなされるか見張っている。

* ダニ 4 : 13、17

「警護者」(口語)、「見張りの者」(新改)、「見張りの天使」(新共同)

⑥見張り人 (watchmen)

* 神の御心がなされるために警護しているという意味がある。

イザ 62 : 6

⑦霊 (spirits)

* 天使は霊的存在である。

ヘブ 1 : 14

⑧星 (stars)

* 民 24 : 17 は例外

* 星という言葉が象徴的に使われた時は、天使を指す。

ヨブ 38 : 7

黙 1 : 20、9 : 1、12 : 4

⑨仕える者 (ministers)

* 神に仕える者たち

詩 103 : 21、104 : 4、ヘブ 1 : 7

⑩軍勢 (host)

* 神のことを「万軍の主」と呼ぶのはそのためである。

Ⅰ列 22 : 19

詩 103 : 20~21、148 : 2

⑪戦車 (chariots)

* すばやく御心を行う神

Ⅱ列 6 : 16~17、詩 68 : 17、ゼカ 6 : 1~8

⑫神 (elohim)

* 神という意味

* 真の神、偶像の神、天使たちを指す言葉

詩 8 : 5、ヘブ 2 : 7

III. 天使の創造**A. 創造の事実**

コロ 1 : 16

- ①すべての天使は、同時に創造された。
- ②天使の数は一定である。
- ③天使の数は減らない。

B. 創造の時期

ヨブ 38 : 4~7

天地創造（創 1 : 1）の前から天使は存在していた。
どれくらい前から天使が存在していたかは、分からない。

C. 自らの性質に反する選びができる力

マコ 8 : 38、ユダ 6

聖なる存在、また、その性質に反する選びができる存在として、創造された。
3分の1が墮落し、悪霊となる。
3分の2は、聖なる性質が確定する。

D. 天使の地位

- ①メシアである主イエスよりも下位にある。

ヘブ 1 : 4~2 : 3（神性において）

ヘブ 2 : 5~8（人性において）

- ②人よりも上位にある。

詩 8 : 4~5

ヘブ 2 : 5~7、IIペテ 2 : 11

IV. 天使の数

- ①申 33 : 2 「千よろずの聖なる者」（新共同訳）
- ②II列 6 : 17 「火の馬と戦車がエリシャを取り巻いて山に満ちていた」
- ③詩 68 : 17 「神のいくさ車は幾千万と数知れず」
- ④マタ 26 : 53 「十二軍団よりも多くの御使い」（軍団は3千~6千の兵士）
- ⑤ルカ 2 : 13 「多くの天の軍勢」

⑥黙 5：11 「その数は万の幾万倍、千の幾千倍」
最高の答えはヘブ 12：22 「無数の御使いたち」

V. 住まい、活動範囲、現れ

A. 住まい

マタ 18：10 「天」(第3の天)
マタ 24：36、マコ 12：25、13：32、ルカ 22：43、
ガラ 1：8、IIテサ 1：7、ユダ 6

B. 活動範囲

- ①第2の天 (宇宙空間)
エペ 3：10

- ②地上
黙 8：1～2 神の前に立つ7人の御使い
黙 14：8 火をつかさどる
黙 16：5 水をつかさどる

C. 現れ

1. 可視性

①夢 創 28：12

②幻

③出現

2. 姿

常に青年の姿を取る。
創 18：1～2、16、22、19：1～22
マコ 16：5、ルカ 24：4、使 1：10～11

3. 影響

主な影響は、恐れが生じるということ。
ダニ 10：4～9、マタ 28：2～6、ルカ 1：11～12、26～30、2：9

VI. 天使の性質**A. 知性**

Ⅱサム 14：20

詩 148：2

マタ 24：36

マタ 28：5

エペ 3：10

Ⅰペテ 1：12

B. 感情

ヨブ 38：7

ルカ 15：10

C. 意志

ルカ 2：13

ヘブ 1：6

ユダ 6

VII. 天使の本質**A. 創造**

被造物である。

コロ 1：16

遍在ではない。

ダニ 9：21～23、10：10～14

全能ではない。

ダニ 10：10～14、Ⅱペテ 2：11

ユダ 9（御使いのかしらミカエル）

全知ではない。

マタ 24：36、エペ 3：10、Ⅰペテ 1：11～12

B. 天使の体

霊的存在である。

ヘブ 1 : 14

幽霊ではなく、有形性を持っている。

肉や骨ではない。

ルカ 24 : 39

霊体を持っていて、人間のように現れることができる。

創 18~19 章、マタ 1 : 20、ルカ 1 : 11、ヨハ 20 : 12、ヘブ 13 : 2

人間が考えるような空間の概念に縛られていない。

ルカ 8 : 30

次世代を生まだすことはない。

マコ 12 : 25

天使は結婚しない。

ギリシア語では、男性名詞、男性代名詞が使われる。

創 6 章では、墮天使が人間の女性と結婚。誕生したのは天使ではない。

C. 天使の一団

天使は、「人種」ではない。

ヘブ 12 : 22

人間とは異なる。

詩 8 : 4~5

人間よりも上位にいる。

ヘブ 2 : 7、II ペテ 2 : 11

聖なる天使は結婚をしない。

ルカ 20 : 34~36

D. 天使の特性**1. 聖**

罪を犯すことがない。ルカ 9 : 26

2. 力

詩 103 : 20

マタ 28 : 2

使 5 : 19

使 12 : 7

使 12 : 23

エペ 1 : 21、3 : 10、コロ 1 : 16

IIテサ 1 : 7、IIペテ 2 : 11、

3. 不死

ルカ 20 : 35~36

4. 礼拝されることは禁止

コロ 2 : 18、黙 19 : 10、22 : 8~9

VIII. 組織

A. 階級を示すタイトル

1. 王座 (Thrones)

コロ 1 : 16

2. 主権 (Dominions)

エペ 1 : 21、コロ 1 : 16

高位の天使が下位の天使を治める。

3. 支配 (Principalities)

エペ 3 : 10、コロ 1 : 16

諸国を治める。

4. 権威 (Authorities)

エペ 1 : 21、Iペテ 3 : 22

主権を行使する。

5. 権力 (Powers)

エペ 1 : 21、3 : 10、コロ 1 : 16、Iペテ 3 : 22

王族としての責務を強調した言葉

6. 万軍 (Hosts)

Ⅰサム 1 : 11、Ⅰ列 22 : 19

軍としての組織化

7. レギオン (Legions)

マタ 26 : 53

軍の中の一隊 (3千~6千)

8. 天使長 (Chief Prince)

ダニ 10 : 13、12 : 1

「天使の長」(口語訳)、「第一の君」(新改訳)、「天使長」(新共同訳)
ある国を治める天使

B. 天的存在の3つの階級

1. 天使

天的存在の中では最も下位にある。

「天使」には天的存在全体を指す時と、下位の天使を指す時とがある。

a. ミカエル

「誰が神のようであろうか」という意味

天使長であるが、セラフィムやケルビムの上に立つのではない。

①ダニ 10 : 13 「第一の君」、「天使長」(新共同訳)

②ダニ 12 : 1 「大いなる君」、「大天使長」(新共同訳)

ギリシア語のタイトルは「アークエンゲロス」(御使いのかしら)(ユダ 9)

他の天使たちを率いる(黙 12 : 7)。

ミカエルは、イスラエルの上に権威を持っている。

ユダ 9

ダニ 10 : 13~21

ダニ 12 : 1

Ⅰテサ 4 : 16

黙 12 : 7~12

b. ガブリエル

「神から出た力ある者」という意味

神からの啓示を人間に伝える役割

ダニ 8：15～27

ダニ 9：20～27

ルカ 1：11～20

ルカ 1：26～38

将来の役割を持っている。

ルカ 1：19

黙 8：2 神の前に立つ7人の天使の1人

ラッパの裁きをもたらす（黙 8章～9章）

c. それ以外の無名の天使

黙 8：2 他の6人の名は不明

黙 15章～16章 鉢の裁きと7人の天使たち

黙 7：1～4 四方から風をもたらす4人の天使

黙 14：8 火をつかさどる天使

黙 16：5 水をつかさどる天使

2. セラフィム

イザヤ書と黙示録のみに登場

セラフ（燃えている者）の複数形

同じ言葉が、蛇と訳されている。

民 21：8、イザ 14：29、30：6

a. イザヤ書の中で

イザ 6：2～3、6～7

①神の御座の周りにいる。

②6つの翼を持っている。

③神をたたえている。

④イザヤの罪を清めている。

b. 黙示録の中で

黙 4：6～11

①神の御座の周りにいる。

②前もうしろも目で満ちている（6節）。

③6つの翼を持っている（8節）。

④顔の表情が異なっている（7節）。

獅子、雄牛、人間、鷲

- ⑤周りも内側も目で満ちている（8節）
- ⑥常に神をたたえている。イザヤ書のことばとほぼ同じ（8～9節）。
- ⑦24人の長老たちが神をたたえ始める合図（10～11節）

黙5：6

神の小羊の周りにはいる。

つまり、父なる神をも、子なる神をも、取り囲んでいる。

黙5：8～10

小羊が7つの封印の巻物を取った時、セラフィムは小羊を礼拝する。

黙6：1、3、5、7

それぞれが封印の裁きの告知を行う。

7つの裁きのうち、最初の4つの告知

黙7：11～12

大患難時代に救われた者たちのゆえに、神をたたえる。

144,000人のユダヤ人の救い、多数の異邦人の救い

黙14：3

千年王国で、144,000人のユダヤ人たちの賛美を聞く。

黙15：7

セラフィムの1人が、7つの鉢の裁きを7人の天使に渡す。

黙示録15章と16章の鉢の裁きが、最も厳しい裁きである。

黙19：4～5

神への礼拝を導く。

c. 結論

イザヤ書と黙示録の聖句からの8つの推論

- ①父なる神と、子なる神とを絶えず礼拝している。
- ②謙遜
- ③神の僕を清める。イザ6：6～7
- ④天での礼拝を導く。

- ⑤彼らの関心事の中心は、神の聖なることと、礼拝である。
- ⑥彼らは神をたたえ、神の聖なることを宣言する。
- ⑦人間は清められる必要があることを宣言する。
- ⑧大患難時代に、裁きのための器として用いられる。

3. ケルビム

最高位の天使たち。「護衛」「覆う」という意味がある。

91 回の内、27 回が単数形、64 回が複数形。

新約聖書は 1 回だけ（ヘブ 9：5）。

a. 聖句

創 3：24

出 25：18～22

出 26：1

出 37：7～9

Ⅰサム 4：4 と Ⅱサム 6：2

Ⅱサム 22：11

Ⅰ列 6：23～28、7：29、36

Ⅰ列 8：6～7

Ⅱ列 19：15、Ⅰ歴 13：6

Ⅰ歴 28：18

Ⅱ歴 3：7

Ⅱ歴 3：10～14

Ⅱ歴 5：7～8

詩 18：10

詩 80：1、99：1、イザ 37：16

エゼ 1：5～28

①人間のような姿（5 節）

②4つの顔。人間の顔、獅子の顔、牛の顔、鷲の顔（6、10 節）

③4つの翼（6 節）

④足はまっすぐ（7 節）

⑤足の裏は子牛の足の裏のよう（7 節）

⑥みがかれた青銅のように輝いていた（7 節）

⑦人間の手が四方に出ている（8 節）

⑧輝く青銅、燃える炭、たいまつ、火のように見えた（13 節）

- ⑨いなずまのような速さで移動する（14 節）
- ⑩翼の音は、大水のとどろき、全能者の声、陣営の騒音のよう（24 節）
- ⑪シャカイナグローリーとの関連（26～28 節）

エゼ 10：1～22

シャカイナグローリーが去った時に、ケルビムが関係した。

エゼ 28：14～16

サタンは、ケルブとして創造された。

他のケルビムを治める地位にあった。

エゼ 41：18～20、25

- ①千年王国の神殿の壁に、ケルビムが彫刻される。
- ②これらのケルビムには、2つの顔がある。人間と若い獅子。
- ③千年王国の神殿の扉にも、ケルビムが彫刻される。

新約聖書ではヘブ 9：5のみ

幕屋の中の恵みの座（贖罪蓋）を覆う。

b. 結論

以上、聖句からの7つの推論

- ①ケルビムの3分類
 - * 1つの顔と2つの翼
 - * 2つの顔と2つの翼
 - * 4つの顔と4つの翼
 - * サタンはこの3つのいずれか。
- ②御座を運び、それを覆う。
 - * ケルビムの上に座すお方という表現が出てくる。
- ③シャカイナグローリーと密接に関連している。
 - * シャカイナグローリーを反映させている。
 - * シャカイナグローリーは、前576年にイスラエルを去った。
- ④神の臨在と密接に関連している。
- ⑤彼らは、神の義と力に関心を持っている。
- ⑥彼らは、神の聖なる性質と臨在とを守っている。そのために力が必要。
- ⑦諸国の間で神の御心を行う能力がある。

IX. 天使の働き**A. 神との関係における天使の働き**

4つの具体的働きがある。

①神の礼拝が維持されるために働く。彼ら自身も神を礼拝する。

詩 29：1～2、103：20、148：2、イザ6：3

ヘブ1：6、黙4：8～11、5：8～13

②神の御心を行う。

詩 103：20

ヘブ1：7

③神の御業を喜ぶ。

ヨブ 38：7

ルカ 15：10

④神の裁きを行う。

創 19：1～22、出 12：23、I 歴 21：15

B. 啓示の仲介者としての天使の働き

①モーセの律法

申 33：2、使 7：53、ガラ 3：19、ヘブ 2：2

②ダニエルの預言

ダニ 8：1～12：13

③ゼカリヤの預言

ゼカ 1：7～6：15

④黙示録

黙 1：1、10：1～11、17：1、19：9～10、21：9、22：16

C. メシアの生涯における天使の働き

1. メシアの誕生

ルカ 1：26～38

マタ 1：20～21

ルカ 2：8～15

マタ 2：13

マタ 2：19～20

2. メシアの公生涯

詩 91：1～12 預言

Ⅰテモ 3：16

マタ 4：11、マコ 1：13

ヨハ 1：51

ルカ 22：43

マタ 26：53

3. メシアの復活

マタ 28：2

マタ 28：1～7、マコ 16：5～7、ルカ 24：4～7、ヨハ 20：12～13

4. メシアの召天

使 1：10～11

5. メシアの再臨

マタ 16：27、24：31、25：31、Ⅱテサ 1：7

D. 諸国の間における天使の働き

①「世界の統治者」、「諸国の統治者」

ペルシヤの国の君（ペルシア王国の天使長）

ミカエルは、他の天使長の上に立つ。

ミカエルは、イスラエルの天使長でもある。ダニ 10：21、12：1

②ある国の人間の統治者とも密接に関係している。

イザ 14：3～20 バビロンへの言及

*3～11 節 バビロンの王

*12～14 節 サタン

*15～20 節 再びバビロンの王

エゼ 28：1～19

*1～10 節 ツロの君主

*11～19 節 サタン（ツロの王）

墮天使も聖い天使も、ともに「世界に統治者」として用いられる。

世界で起きることの多くは、これらの天使の働きの結果である。

E. 不信者の間における天使の働き

1. 迫り来る裁きを宣言する。

創 19：12～13

黙 14：6～7

2. 裁きを実行する。

出 12 : 23

Ⅱサム 24 : 16

エゼ 9 : 1~8

使 12 : 23

黙 8 : 1~2、6、16 : 1

3. 刈り取りをする。

マタ 13 : 39~42、49~50

F. 信者に関する働き**1. 信者の救い**

ルカ 15 : 10

2. 信者の守護

詩 34 : 7、91 : 11

マタ 18 : 10

へブ 1 : 14

3. 信者の安全

創 19 : 1~22

創 32 : 1~2

Ⅰ列 19 : 5~6、Ⅱ列 6 : 17

ダニ 3 : 24~28、6 : 22

使 5 : 17~20、使 12 : 6~11

4. 信者の導き

マタ 1 : 20~21

使 8 : 26

使 10 : 3~8

使 11 : 13~14、27 : 23~24

5. 信者の祈り

ダニ 9 : 20~23、10 : 12~13

使 12 : 1~19

6. 信者の励まし

使 5 : 18~20、27 : 23~25

7. 信者の死

ルカ 16 : 22

8. 信者の観察

ルカ 12 : 8~9、15 : 10

Ⅰコリ 4 : 9

Ⅰコリ 11 : 10

Ⅰテモ 5 : 21

Ⅰペテ 1 : 10~12

9. 地域教会の守り

黙 2 章~3 章

10. 天使に対する信者の正しい姿勢

①天使に驚嘆してはならない。

ダニ 8 : 16~17、10 : 1~9

②天使の働きに感謝すべき。

ヘブ 1 : 14

③天使を礼拝してはならない。

コロ 2 : 18、黙 19 : 10、22 : 9

④将来、信者は天使を裁くようになる。

Ⅰコリ 6 : 3 (白い御座の裁き。墮天使を裁く)

G. 天使の将来の働き

1. 大患難時代

①144,000 人に神の印を押してから、地を裁く。

黙 7 : 1~3

②7 人の天使が、7 つのラツパの裁きをもたらす。

黙 8 : 1~9 : 21、11 : 15~19

③大患難時代の中に、サタンと墮天使は地に閉じ込められる。

黙 12 : 7~12

④大患難時代の中に、ある宣言を行う。

黙 14 : 6~20

⑤鉢の裁きをもたらす。

黙 15：7～16：21

⑥バビロン滅亡の宣言をする。

黙 18：1～3、21～24

⑦諸国をハルマゲドンの戦いに呼び出す。

黙 19：17～18

2. 再臨

①聖い天使はイエスとともに戻ってくる。

マタ 16：27、24：31、25：31、Ⅱテサ 1：7

②信者と不信者とを分ける。

マタ 13：39～42、49～50

3. メシア的王国

①サタンを千年間底知れぬ所（アビス）に閉じ込める。

一般の天使がこれをする。

黙 20：1～3

②ユダヤ人を約束の地に戻す。

マタ 24：31

4. 永遠の秩序

天使たちは、町の門の守護者となる。

黙 21：12

新しいエルサレムには、12の門がある。

X. 天使の運命

ヘブ 12：22

聖い天使たちは新しいエルサレムに住む。

信者と、聖い天使たちの運命は同じである。

サタン論

講師：アーノルド・フルクテンバウム博士

通訳：中川健一



ハーバースト・タテ・ミニストリーズ

目次

イントロダクション	1
Ⅰ. サタンの存在	1
Ⅱ. サタンの起源	1
Ⅲ. サタンの墮落	2
A. 最初に罪を犯した	2
B. 最初の罪：プライド（高慢）	2
C. サタンの墮落：罪の結果	2
D. サタンの最後の裁き	3
Ⅳ. サタンの人格	4
A. 人格を持っていることを証明する特質	4
B. 代名詞の使用法	5
C. 行動による証明	5
D. 道徳的責任がある者として描かれている。	5
Ⅴ. サタンの呼び名	5
A. サタンの名前	5
B. サタンの称号	6
C. サタンの描写	8
D. 動物に似せたサタンの描写	8
Ⅵ. サタンの本質	9
A. サタンは被造物である。	9
B. サタンはケルブである。	9
C. サタンは最高位の天使である。	9
D. サタンは霊的存在である。	9
E. サタンは確定した罪人である。	9
F. サタンは奇跡を行うことができる	10
G. サタンは限界を持った存在である。	10
Ⅶ. サタンの6つの住みか	10
A. 神の御座	10
B. 宝石で覆われたエデンの園	10
C. 宇宙空間	11
D. 地上	11
E. アブソス（底知れぬ所）	11
F. 火の池	12
Ⅷ. サタンの業	12
A. 「世」におけるサタンの業	12

B.	旧約聖書におけるサタンの業.....	14
C.	神との関係におけるサタンの業.....	15
D.	メシアの生涯におけるサタンの業.....	16
E.	諸国民の間におけるサタンの業.....	16
F.	イスラエルに関するサタンの業.....	17
G.	未信者に関するサタンの業.....	17
H.	信者に関するサタンの業.....	18
I.	将来におけるサタンの業.....	21
IX.	サタンの裁き	21
A.	墮落の時.....	21
B.	エデンの園で.....	21
C.	メシアの十字架において.....	21
D.	大患難時代の間で.....	21
E.	大患難時代の終わりにおいて.....	22
F.	白い御座において.....	22
G.	火の池において.....	22
X.	信者の責務.....	22
A.	信者の武具.....	22
B.	信者の力.....	22
C.	警戒する。.....	22
D.	メシアの執りなし.....	22
E.	3つの原則.....	23

イントロダクション

3つの誤った教え

- ①サタンとは、人格を持った存在ではなく、悪の原理のことである。
- ②人が犯すすべての罪の背後に、サタンがいる。
- ③すべての肉体的病気・精神的病気の背後には、サタンや悪霊の影響がある。

I. サタンの存在

①旧約聖書では7つの書に出てくる。

創、1歴、ヨブ、詩、イザ、エゼ、ゼカ

②新約聖書では19の書に出てくる。

マタ、マコ、ルカ、ヨハ、使、ロマ、1コリ、2コリ、エペ、1テサ、2テサ、
1テモ、2テモ、ヘブ、ヤコ、1ペテ、1ヨハ、ユダ、黙

③メシアの教えに出てくる。

福音書には29回の言及があるが、25回はメシア自身が語っている。

マタ4:10、マコ3:26、ルカ13:16、ヨハ12:31

II. サタンの起源

エゼ28:11~15

①サタンは、被造物の中で最も知恵と美に満ちていた。

「知恵に満ち、美の極みであった」(11~12節)

ヘブル語では、「型通りに完璧に」という意味がある。

神のブループリント(青写真)が存在していた。

動物にも人間にも同じようにブループリントがある。

②サタンは、被造物である(13節)。

*宝石でおおわれていた。

*礼拝のためのタンバリンと笛

③ケルブとして創造された(14節)。

「わたしはお前を／翼を広げて覆うケルブとして造った。お前は神の聖なる山にいて／火の石の間を歩いていた」(新共同訳)

天使の階級：一般の天使、セラフィム、ケルビム
油注ぎを受けたケルブとなった。

「You were the anointed cherub who covers;」【NKJV】
一般の天使の長はミカエルだが、ケルビムの長はサタンである。

④創造された時点では、完全であった（15節）。

聖であり完璧であったが、その性質に反する選びをする能力を持っていた。

まとめ

- *サタンは被造物である。
- *完璧な姿に創造された。
- *ケルブとして創造された。
- *知恵と美においては、被造物の最高峰であった。
- *油注ぎを受けた結果、被造物の中で最高の力と権威を持つようになった。

III. サタンの墮落

A. 最初に罪を犯した

Ⅰヨハ3：8

「悪魔は初めから罪を犯しているからです」

B. 最初の罪：プライド（高慢）

Ⅰテモ3：6

初心者が地域教会で指導的地位に就くことの危険性

C. サタンの墮落：罪の結果

エゼ28：15～19

「あなたに不正が見いだされる」（15節）

罪の源に最も近づいた表現である。

「あなたは罪を犯した」（16節）

「お前の取り引きが盛んになると」（新共同訳、16節）

ヘブル語では、「人から人へ、あるいは、場所から場所へ動き回る」の意味。

天使の3分の1が説得された。

高慢の罪 → 神を中傷する罪 → その結果、天で暴虐が起こる。

サタンは、追放された。

「神の山から追い出し」(16節)

サタンは神の御座の守護者でも、天の大祭司でもなくなった。

「火の石の間から滅ぼした」(新共同訳、16節)

美しい石で覆われていた地は破壊され、サタンは地の統治権を失った。

サタンの内に見出される不義は、内面の墮落によるものである。

*完全で聖なる性質が、墮落した。

*その墮落が、罪の行為を生んだ。

*罪の原因は、高慢である。

*自らの美によって高慢になった。

*その高慢が、知恵を破壊した。

*自らの美、知恵、力、権威を、間違った方向に用いるようになった。

サタンの将来の裁き (18~19節)

D. サタンの最後の裁き

イザ 14 : 12~14

12節は、サタンの墮落の要約である。

ルシファーという名前に関しては、後に (セクションVで) 取り上げる。

「暁の子、明けの明星」

13~14節に墮落の理由が書かれている。5つの「I will」(してやろう)

①「私は天に上ろう」

神の御座を欲しがった。

これは、メシアの特権である。エペ 1 : 20~21

②「神の星々のはるか上に私の王座を上げ」

「星」が象徴的に用いられた時は、天使のこと。聖なる天使も墮天使も指す。

ヨブ 38 : 7、ユダ 13、黙 1 : 20、9 : 1、12 : 4

12節では、星はサタンを指す。

すべての天使の上に立とうとした。

ミカエルを追放しようとした。

③「北の果てにある会合の山にすわろう」

これらの用語は、他の聖書箇所では千年王国を指すために用いられている。

詩 48 : 2、イザ 2 : 2、4 : 5~6

サタンは、神の子がメシアとしてイスラエルを統治することを予知していた。

④「密雲の頂に上り」

「雲」が象徴的に用いられた場合は、常にシャカイナグローリーを指す。

出 16：10、40：34～38、1列 8：10～11、マタ 26：64

⑤「いと高き方のようになろう」

神を「いと高き方」と呼ぶ場合は、天と地の所有者としての意味がある。

創 14：18～19

創 1：1 で神が創造されたすべてのものを奪おうとした。

サタンの動機について

神のようになろうとした（イザ 14：14）。

エゼ 28：11～19 の場合

1～10 節では、ツロの君主が出てくる。これがサタンの罪の背景になっている。

2 節と 6～9 節では、ツロの君主の罪は、神のようになろうとしたこと。

11～19 節では、ツロの王が出てくる。これがサタンである。

人間の墮落も、神のようになろうとしたことが原因である。

創 3：5

反キリストの罪も同じ。

「彼は、すべて神と呼ばれるもの、また礼拝されるものに反抗し、その上に自分を高く上げ、神の宮の中に座を設け、自分こそ神であると宣言します」（IIテサ 2：4）

メシアの心は僕のそれである。

ピリ 2：5～11

IV. サタンの人格

A. 人格を持っていることを証明する特質

1. 知性

ヨブの義について神と論じている（ヨブ 1～2 章）。

マタ 4：6

ルカ 4：1～12

II コリ 11：3

エペ 6：11

2. 感情

I テモ 3 : 6

黙 12 : 12、17

3. 意志

イザ 14 : 13~14

ルカ 4 : 6~7

II テモ 2 : 26

I ペテ 5 : 8

B. 代名詞の使用法

ヘブル語には、男性形と女性形しかない。

ギリシア語には、男性形、女性形以外に、中性形がある。

サタンは、常に男性形の代名詞で表現されている。

C. 行動による証明

人格を持っている人のように行動している。

I ヨハ 3 : 8

I 歴 21 : 1

ゼカ 3 : 1

ヨハ 8 : 44

ヘブ 2 : 14

D. 道徳的責任がある者として描かれている。

マタ 25 : 41

サタンは火の池に投げ込まれる。道徳的責任があるから。

ヨハ 16 : 11

V. サタンの呼び名

A. サタンの名前

1. サタン

旧約聖書で 19 回

ゼカ 3 : 1

ギリシア語では「サタナス」

新約聖書で 36 回

黙 12 : 9

「敵対者」、「反抗する者」の意
神の国に敵対する国のリーダー

2. 悪魔 (Devil)

新約聖書で 35 回

ギリシア語では「ディアボロス」(黙 12 : 9)

「訴える者」、「中傷する者」の意

3. ベリアル

Ⅱコリ 6 : 15

「無価値な者」の意

4. ベルゼブル

ヘブル語では「バアル・ズブ」、「蠅の主」の意。

エクロン (ペリシテ人の地) の偶像 (Ⅱ列 1 : 2、3、6)

ギリシア語では「ベルゼブル (Beelzebub)」、「王宮の主」の意。

マタ 10 : 25、12 : 24、27、マコ 3 : 22、ルカ 11 : 15、18、19

ラビたちは、それを「ベルゼバブ (Beelzebub)」と読み替えた。

新約時代には、これがサタンの名となった。

B. サタンの称号

1. 暁の子、明けの明星

イザ 14 : 12

欽定訳聖書は、ヘブル語の「ヘレル」をラテン語の「ルシファー」と訳した。

ルシファーは、サタンの聖書的タイトルではない。

ヘブル語では、サタンが輝いている者であることを強調している。

エゼ 28 章

Ⅱコリ 11 : 14

2. 破壊者

黙 9 : 11

「彼の名はヘブル語でアバドンといい、ギリシヤ語でアポリュオンという」

(この聖句は、悪霊の長に言及している可能性もある)

3. この世の君（この世を支配する者）

ヨハ 12 : 31、14 : 30、16 : 11

「世」はギリシア語で「コスモス」

神の国に対立する概念

4. 空中の権威を持つ支配者

エペ 2 : 2

①サタンの現在の住まい：宇宙空間

②墮天使の上に支配権を振う。

5. この世の神（この時代の神）

Ⅱコリ 4 : 4

「世」はコスモスではなく、アイオン（時代）である。

時代の精神性のことである。

エペ 2 : 2 「時代（コスモス）の流れ（アイオン）」

ガラ 1 : 4 「キリストは、今の悪の世界から私たちを救い出そうとして、」

6. 悪しき者（悪）

マタ 6 : 13、ヨハ 17 : 15、Ⅱテサ 3 : 3、Ⅰヨハ 5 : 18~19

ギリシア語では「ポネイロス」、墮落した性質を強調した言葉。

7. 油注がれたケルブ

エゼ 28 : 14

①サタンは、天使の中の最高位のケルブである。

②他のケルビムは神の御座を下から支えるが、サタンは天蓋としてそれを覆う。

8. 悪霊のかしら

マタ 12 : 24、ルカ 11 : 15

墮落した3分の1の天使に対して権威を持つ。

9. ツロの王

エゼ 28 : 11~12

この世の王国に対して権威を持つ。

10. バビロンの王

イザ 14 : 4、12、14

これもまた、この世の王国に対する権威を強調する言葉。

C. サタンの描写**1. 兄弟たちの告発者**

黙 12 : 10

告白していない罪があると、サタンは神の御座の前に出て訴える。
メシアは、信者の弁護をしてくださる。

ヨブ 1 : 9~11

ヨブ 2 : 4~5

イスラエルを告発する ゼカ 3 : 1~2

2. 光の御使い

Ⅱコリ 11 : 14

サタンは欺瞞を働く者である。

3. 誘惑する者

マタ 4 : 3、Ⅰテサ 3 : 5

ギリシア語でペイラゾン

現在分詞 今も人々を誘惑する。

4. 惑わす者

黙 12 : 9

ギリシア語でプラノン

これも現在分詞である。

5. 不従順の子らの中に働いている霊

エペ 2 : 2

①サタンは霊である。

②不信者の中で働いている。

D. 動物に似せたサタンの描写**1. 蛇**

創 3 : 1、2、4、13、14

Ⅱコリ 11 : 3、黙 12 : 9、15、20 : 2

①サタンへの初めての言及（創3章）

②サタンの狡猾さを強調している。

2. 竜

黙 12 : 3、4、7、9、13、17

ギリシア語では「ドラコン」。

サタンの力と激しさを表現している。

3. ほえたける獅子

1ペテ 5 : 8

サタンの破壊的な性質を表現している。

VI. サタンの本質

A. サタンは被造物である。

エゼ 28 : 15、コロ 1 : 16

サタンには始まりがある。

B. サタンはケルブである。

エゼ 28 : 14、16

ケルビムは、一般の天使やセラフィムよりも高位の霊的存在である。

C. サタンは最高位の天使である。

①油注ぎを受けたケルブである（エゼ 28 : 14）。

②ミカエルでさえもサタンを敬う必要がある（ユダ 8~9）。

③サタンは、墮天使の指導者である。

マタ 12 : 24、黙 12 : 4、7

D. サタンは霊的存在である。

イザ 14 : 12、II コリ 11 : 14

常に天使と関係している。

マタ 12 : 24、黙 12 : 9

E. サタンは確定した罪人である。

1ヨハ 3 : 8

①野心と高慢

エゼ 28 : 17、1テモ 3 : 6

②嘘

ヨハ8：44

③悪巧み

Ⅱコリ2：11、11：3～4、エペ6：11

④欺き

悪巧みは内面のこと、欺きは外面の行為。

Ⅱコリ11：14、Ⅱテサ2：9～10

F. サタンは奇跡を行うことができる

Ⅱテサ2：9、黙13：11～15

サタンは、神の奇跡の複製を作ることができる。

マタ7：22～23

G. サタンは限界を持った存在である。

①全能者ではない。

悪霊のネットワークを持っている。

②神はサタンの行動を制約される。

ヨブ1～2章

③サタンに立ち向かうことは可能である。

エペ6：10～18、ヤコ4：7、Ⅰペテ5：8～9

VII. サタンの6つの住みか

時間の順に見てみる。

2つは過去、1つは現在、3つは未来

A. 神の御座

エゼ28：14

①御座を覆うケルブであった。

②神の御座の守護者であった。

どれくらいの時間、サタンがこの住みかにいたかは不明。

B. 宝石で覆われたエデンの園

エゼ28：13

創2～3章のエデンの園とは異なる。植物の園である。

創1：1 神は宇宙の異なった場所を、異なった天使たちに与えた。
地球の支配権はサタンに与えられた。
創造直後の地球の姿は、宝石で覆われた園であった。
この時点で、サタンは2つの住みかを持ったことになる。
第2の住みかでサタンの墮落が起こった。
サタンは、神の御座での位置も、地球の支配権も失った。

C. 宇宙空間

エペ2：2

「空中の権威を持つ支配者」

エペ6：12

「天にいる」

1. 天に近づくことができる

ヨブ1～2章

イスラエルを非難するため（ゼカ3：1）

聖徒たちを非難するため（黙12：10）

2. 地に近づくことができる

アダムの特権を奪った。

ヨハ12：31

Ⅱコリ4：4

ほえたける獅子 Ⅰペテ5：8～9

光の御使い Ⅱコリ11：1～13

D. 地上

大患難時代の間で、サタンは地上に投げ落とされる。

黙12：7～17

ミカエルと天使たち 対 サタンと墮天使たち

3年半の間、地上に存在する。

①天で喜びが起こる。

②地上にとっては、これは呪いとなる。

E. アブソス（底知れぬ所）

黙20：1～3

シオール（ハデス）の中にある、墮天使たちを一時的に閉じ込めておく場所。

サタンはここに、1000年間閉じ込められる。
千年王国の間、サタンや悪霊による誘惑はない。

F. 火の池

黙 20 : 7~10

千年王国の最後に、サタンが解き放たれる。
サタンによる最終戦争が起こる。
サタンの軍勢は、天からの火によって滅ぼされる。
それから、火の池に投げ込まれる。

VIII. サタンの業

A. 「世」におけるサタンの業

1. ギリシア語の用語

- ① コスモス 187回
この世の体制
サタンの支配下にある。
- ② アイオン 41回
時代
- ③ オイクメネイ 14回
人間が住む世界

使徒ヨハネは、コスモスという言葉を使っている。
福音書で68回、Iヨハで23回、IIヨハで1回、黙で3回

2. コスモスの定義

「神を除外した、サタンを頭とする秩序ある世界」
神に敵対する秩序である。

「サタンが推進する巨大な秩序のことで、それは、サタンの理念、目的、方法に合致しており、政府、紛争、軍備、ねたみ、教育、文化、道徳的宗教、高慢などの諸概念を包含している」

IIペテ 3 : 5~7

3. コスモスの教理

a. サタンはコスモスを支配している。

ルカ 4：5～7

ヨハ 12：31、14：30、16：11

II コリ 4：4

I ヨハ 4：4

b. コスモスは全的に悪である。

ロマ 5：12

I コリ 1：21

I コリ 2：8

I コリ 5：10 「この世の不品行な者」(口語訳)

ヤコ 4：4

II ペテ 1：4 「世にある欲」

II ペテ 2：10

I ヨハ 4：3

c. コスモスにおける誘惑の範囲

I ヨハ 2：16

「肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢」

d. コスモスの欲望

①富 マコ 4：19

②神を抜きにした安全 I コリ 7：29～31

③霊的事項よりも物質を求める。 ヤコ 2：5

e. コスモスの無能

父を知らない ヨハ 17：25

神もない エペ 2：12

神の声を聞かない I ヨハ 3：1、4：5～6

f. コスモスに対する神の愛

ヨハ 3：16

I ヨハ 4：9

g. コスモスに対する御子の計画

ヨハ 12 : 46

ヨハ 16 : 8

ヨハ 18 : 36

h. コスモスでの信者の立場

憎まれる。ヨハ 15 : 18~19

患難を経験する。ヨハ 16 : 33

この世のものではない。ヨハ 17 : 14、16

この世に派遣されている。ヨハ 17 : 18

この世の汚れに染まない。ヤコ 1 : 27

この世から憎まれる。Ⅰヨハ 3 : 13

信仰によってこの世に勝つ。Ⅰヨハ 5 : 4

i. コスモスは一時的

神の裁きの下にある。ロマ 3 : 19

過ぎ去る。Ⅰコリ 7 : 31

呪いの下にある。Ⅰコリ 11 : 32

燃え去る。Ⅱペテ 3 : 10

世と世の欲は滅び去る。Ⅰヨハ 2 : 17

B. 旧約聖書におけるサタンの業**1. 罪を作り出した者****2. 人間の墮落の原因**

創 3 : 1~8

ヨハ 8 : 44 人殺し

Ⅱコリ 11 : 3

Ⅰテモ 2 : 14

3. ヨブを非難する者

ヨブ 1 : 6~12、2 : 1~6

4. ヨブを苦しめる者

ヨブ 1 : 13~19

ヨブ 2 : 7~8

5. 論争する者

ユダ9 モーセの死体に関して

6. 動機づけをする者

Ⅰ歴21:1 イスラエルの人口調査

7. イスラエルを非難する者

ゼカ3:1~2

8. 未信者の裁きの時にそこにいる。

詩109:6

C. 神との関係におけるサタンの業**1. 神の性質に対抗する。**

創3:1~5

Ⅰヨハ3:10~12

2. 神の計画に対抗する。

サタンは偽物を作り出す。

a. 偽の宗教

Ⅱコリ11:13~15

黙2:9、13

b. 偽のメシア

①別のイエス Ⅱコリ11:4

②反キリスト Ⅰヨハ2:18、22、4:3

c. 偽の弟子

マタ13:38~39

サタン礼拝者ではなく、見かけはイエスの弟子のように見える。

d. 偽の神学

Ⅰテモ4:1~3

黙2:24

e. 偽の奇跡

マタ 7 : 22~23

IIテサ 2 : 8~11

奇跡ではある。

イエスの御名によってなされるが、イエスはそれをしていない。

D. メシアの生涯におけるサタンの業**1. 争いの預言**

創 3 : 15

2. サタンの試み

マタ 2 : 1~18

黙 12 : 4

3. 誘惑

マタ 4 : 1~11

マコ 1 : 12

ルカ 4 : 1~13

4. 人間を利用する

マタ 2 : 16 ヘロデ

マタ 16 : 23 ペテロ

ヨハ 8 : 44、59 民衆

5. ペテロにメシアを拒否させた。

ルカ 22 : 31

6. ユダの裏切りの原因を作った。

ヨハ 13 : 2

ヨハ 13 : 27

ヨハ 17 : 12 「滅びの子」 サタンつき

E. 諸国民の間におけるサタンの業**1. 諸国を倒す**

イザ 14 : 12

2. 諸国を欺く

黙 12 : 9、20 : 3

3. 諸国に対して影響力を行使する

ダニ 10 : 13、20

マタ 4 : 8~9

エペ 6 : 12

4. 反キリストを立てる

キリストはサタンの提案（この世の権威）を断った。

反キリストはそれを承諾する。黙 13 : 2、4

5. ハルマゲドンの戦いを起こす

黙 16 : 12~16

6. 最終戦争で異邦人を先導する

黙 20 : 7~10

F. イスラエルに関するサタンの業

イスラエルの敵対者

I 歴 21 : 1

ゼカ 3 : 1~2

G. 未信者に関するサタンの業**1. 福音を信じないように仕向ける。**

①福音の種を取り去る。

マタ 13 : 19、マコ 4 : 15、ルカ 8 : 13

②盲目にする。

II コリ 4 : 3~4

2. 虚偽に心が奪われるようにする。

①偽の教え

I テモ 4 : 1~3

I ヨハ 4 : 1~4

②誤った生活態度を教える。

エペ 2：1～3

Ⅰヨハ 2：15～17

3. 未信者の死に対して力を持っている。

旧約聖書では、信者の死も未信者の死も、サタンの力の下にあった。

新約聖書では、信者の死はサタンの力の下にはない（例外が1つある）。

未信者の死に関して

ヘブ 2：14

黙 1：18

4. 苦難と抑圧の原因を作る。

ルカ 13：16

使 10：38

5. 信者の間に未信者を置く。

マタ 13：25～39

6. 未信者を利用して福音を曲げる。

使 13：8～10

7. 偽の働き人を用いる。

Ⅱコリ 11：13～15

8. 未信者を利用して福音に敵対させる。

黙 2：9～10、13

H. 信者に関するサタンの業

1. 信者をふるいにかける。

ルカ 22：31

2. 信者を妨害する。

Ⅰテサ 2：18

3. 信者に対して優位に立つ。

Ⅱコリ 2：11

4. 信者を欺く。

Ⅱコリ 11：3

5. 信者を苦しめる。

Ⅱコリ 12：7

6. 教会から除名された者の死に対して力を持つ。

Ⅰコリ 5：5

除名の前に4つのステップがある。

マタ 18：15～20

その場合でも、信者の救いが奪われることはない。

この罪は、Ⅰヨハ 5：16の「死に至る罪」である。

7. 内側から、ある信者たちを支配する。

英語の「possession」（悪霊に憑かれている）は最悪の用語である。

ギリシア語の意味は、「内側から支配される」、「悪霊化する」である。

使 5：3 アナニヤとサツピラ

エペ 5：18 同じ言葉。「御霊に満たされなさい」

エペ 4：27 「悪魔に機会を与えないようにしなさい」

上陸拠点、とっかかり

Ⅱテモ 2：26

8. 聖徒に戦いを挑む。

エペ 6：10～18

9. 聖徒を非難する。

黙 12：10

10. 信者の心に疑いを入れる。

創 3：1～5

11. 迫害を起こす。

黙 2：10

12. 教会に潜入する。

①偽の弟子たち マタ 13：38～39

②偽の教師たち

Ⅱコリ 11：13～15

Ⅱペテ 2：1～19

13. 教会の中に分裂をもたらす。

Ⅱコリ 2：1～11

14. 信者を誘惑する。

Ⅰテサ 3：5

①嘘 使 5：3

②性的罪 Ⅰコリ 7：5、Ⅰテモ 5：11～15

Ⅰコリ 7：3～5

③その他の罪 Ⅰペテ 5：8

④この世のものへの欲求 Ⅰヨハ 2：15～17、5：19

⑤靈的高慢 Ⅰテモ 3：6

⑥人間の知恵と力への信頼 Ⅰ歴 21：1～8

15. 信者を食いつくす。

Ⅰペテ 5：8

16. 信者を欺く。

Ⅱコリ 11：3～4

Ⅱコリ 11：14

17. 信仰を失わせる。

Ⅰテモ 1：19～20

18. 信者を打ち負かそうとする。

エペ 6：10～12

19. 聖書を誤用する。

マタ 4：5～6

ルカ 4：9～11

20. 信者に敵対する手順

①畏をしかける。Ⅱコリ 2：11

- ②策略を用いる。エペ 6：11
- ③そしりを与える。Ⅰテモ 3：7、Ⅱテモ 2：26
- ④奇跡を用いる。Ⅱテサ 2：9

I. 将来におけるサタンの業

- ①イスラエルに戦いを挑む。黙 12：13～17
- ②反キリストを立てる。Ⅱテサ 2：9、黙 13：1～10
- ③偽預言者を立てる。黙 13：11～18
- ④ハルマゲドンの戦いのために諸国の連合軍を集める。黙 16：12～16
- ⑤千年王国の後に、最終戦争のために諸国を欺く。黙 20：7～9

IX. サタンの裁き

A. 墮落の時

エゼ 28：16

- ①油注がれたケルブとしての地位を失った。
- ②神の御座の守護者としての地位を失った。

B. エデンの園で

創 3：15

C. メシアの十字架において

ルカ 10：18

ヨハ 12：31

ヨハ 16：11

コロ 2：14～15

「神は、キリストにおいて、すべての支配と権威の武装を解除してさらしものとし」

へブ 2：14～15

Ⅰヨハ 3：8

D. 大患難時代の間で

宇宙空間から地上に

黙 12：7～9

黙 12：10～12a

E. 大患難時代の終わりにおいて

千年王国の間、アブソスに閉じ込められる。

創 20：1～3

F. 白い御座において

教会が裁く。

ロマ 16：20

Ⅰコリ 6：2～3

G. 火の池において

マタ 25：41

黙 20：10

X. 信者の責務**A. 信者の武具**

エペ 6：10～18

Ⅰヨハ 2：14

聖書のこと

B. 信者の力

ヤコ 4：7

Ⅰペテ 5：9

エペ 6：10～18

縛るのではなく、対抗する。

C. 警戒する。

Ⅰペテ 5：8

D. メシアの執りなし

ヨハ 17：15

ロマ 8：34

ヘブ 7：25

E. 3つの原則

①サタンをののしらない。

ユダ 8～9

②信者を教えるために、神はサタンを用いることがある。

ヨブ 1～2 章

Ⅱ コリ 12：7～16

③サタンの力は限定的である。

ヨブ 1：12、2：6

悪霊論

講師：アーノルド・フルクテンバウム博士

通訳：中川健一



ハーベスト・タイム・ミニストリーズ

目次

イントロダクション	1
Ⅰ. 悪霊の存在	1
A. 新約聖書の記者の全員が証言している。	1
B. イエスの教えと行動	2
C. 弟子たちの認識	2
Ⅱ. 悪霊の呼び名	2
A. 旧約聖書での呼び名	2
B. 新約聖書での呼び名	3
Ⅲ. 悪霊の人格	4
A. 知性	4
B. 感情	4
C. 意志	5
D. 代名詞の使用法	5
Ⅳ. 悪霊の起源	5
A. 自由な悪霊の起源	5
B. 閉じ込められた悪霊	6
Ⅴ. 悪霊の数	9
Ⅵ. 悪霊の組織	9
Ⅶ. 悪霊の特徴	9
A. 悪霊の本質	9
B. 悪霊の力	10
C. 道徳性	10
Ⅷ. 悪霊の活動	11
A. 歴史	11
B. 一般的な活動	11
C. 特別な活動	11
D. オカルト的活動	13
Ⅸ. 悪霊の支配	16
A. 悪霊の支配の定義	16
B. 悪霊の支配の兆候	17
C. 悪霊の支配の原因	18
D. 悪霊の支配かどうかのテスト	19
E. 悪霊の支配からの解放	19
F. 悪霊の追い出し	20
X. 悪霊と信者	21

A. 悪霊は聖徒に敵対する。	21
B. 神は悪霊を用いる。	21
C. 悪霊は十字架で敗北した。	21
D. 信者には責任がある。	22
XI. 悪霊の将来の活動	22
A. 教会	22
B. 大患難時代	22
XII. 悪霊の運命	23
A. 千年王国	23
B. 永遠の秩序	23

イントロダクション

悪霊 (demon) ギリシア語でダイモニア

新約聖書で 60 回

19 回単数形 41 回複数形

5つの誤った教え

- ①悪霊は存在しない。
- ②悪霊は人格ではなく、悪の影響力のことである。
- ③人が犯すすべての罪の背後に、サタンがいる。
- ④すべての肉体的病気の原因は、悪霊である。
- ⑤すべての精神的病気の原因は、悪霊である。

I. 悪霊の存在**A. 新約聖書の記者の全員が証言している。**

例外は、ヘブル人への手紙の記者だけ。しかし、サタンには言及している。

マタイ

マタ 4 : 24、8 : 16、28、31、33、9 : 32、34、11 : 18、12 : 22、24、15 : 22、17 : 18

マルコ

マコ 1 : 32、34、3 : 15、22、6 : 13、7 : 26、30、9 : 38、16 : 9

ルカ

ルカ 4 : 33、7 : 33、8 : 2、27、35、36、38、9 : 1、49、11 : 15

使 5 : 16、8 : 7、16 : 16~18、19 : 12~16

ヨハネ

ヨハ 8 : 48~49、52、10 : 20~21

I ヨハ 4 : 1~3

黙 8 : 10~11、9 : 1~21、12 : 7、9、16 : 13~14、18 : 2

パウロ

I コリ 10 : 20~21

エペ 6 : 12

I テモ 4 : 1

ヤコブ

ヤコ 2 : 19、3 : 15

ペテロ

II ペテ 2 : 4

ユダ

ユダ6

B. イエスの教えと行動

①悪霊は存在すると教えた。

マタ7:22、10:8、12:27~28、25:41

マコ7:29、16:17

ルカ10:20、11:18~20、13:32

②悪霊を追い出した。

マタ12:22~29

マコ1:39、5:1~20

ルカ4:35、41、8:29~33、9:42、11:14

C. 弟子たちの認識

使徒集団の中で マタ10:1

使徒集団の外で（70人の弟子たち） ルカ10:17

II. 悪霊の呼び名

A. 旧約聖書での呼び名

①わざわいの御使い 詩78:49

②神の子ら（the sons of God） 創6:2、4

③シェディム（悪霊ども） 申32:17、詩106:37

支配するという意味

④シェイリム（山羊の偶像） レビ17:7、Ⅱ歴11:15、イザ13:21、34:14

⑤リリト（こうもり、夜の魔女） イザ34:14

⑥悪霊 Ⅰサム16:14~16、23~24、18:10、19:9

⑦偽りを言う霊 Ⅰ列22:21~22

⑧霊媒 申 18：11、イザ 8：19、19：3

⑨ガド、禍福の神 イザ 65：11

⑩メニ、運命の神 イザ 65：11

⑪エリリム（むなしい、偶像） 詩 96：5
偶像礼拝の悪霊のこと

⑫ケテブ（滅び） 詩 91：6

B. 新約聖書での呼び名

1. 同じギリシア語の語幹から出た言葉

「demons」の語幹 知性という意味
79回

①ダイモン（悪しき力） マタ 8：31

②ダイモニオン 63回 ルカ 4：33

③ダイモニオデス（悪霊に支配されている状態） ヤコ 3：15

④ダイモニゾマイ（内側から悪霊に支配される） 13回 マタ 4：24

⑤デインダイモネステロス（宗教心にあつい） 使 17：22のみ

⑥デイスダイモニス（悪魔礼拝） 使 25：19

2. 「霊」という言葉が入っている呼び名

「霊」は、悪霊との関係では64回使われている。

①悪霊

ルカ 7：21、使 19：12～16

②汚れた霊

マタ 10：1、12：43、マコ 1：27、3：11、5：13、使 5：16、8：7、黙 16：13

③悪い霊 (wicked spirit)

ルカ 11 : 26

④惑わす霊

1 テモ 4 : 1

⑤悪霊の霊

黙 16 : 14

3. 天使 (使い、メッセンジャー)

サタンの使い

マタ 25 : 41、黙 12 : 7~9

4. 破壊

ヘブル語でアバドン、ギリシア語でアポリュオン

黙 9 : 11

III. 悪霊の人格

A. 知性

①イエスが誰であるかを知っている。

マコ 1 : 24

②将来の自らの運命を知っている。

マタ 8 : 28~29

③イエスとパウロを知っている。

使 16 : 16~17、19 : 15

④神は唯一であることを知っている。

ヤコ 2 : 19

⑤偽の教理を作り出す。

1 テモ 4 : 1~3

⑥言葉で意志疎通をする。

ルカ 4 : 34~35、41、8 : 28~31

B. 感情

① 激しい怒りの感情

マタ 8 : 28

② 恐れ of 感情

マタ 8 : 29、ヤコ 2 : 19

C. 意志

① 願いをする。

マタ 8 : 31、ルカ 8 : 32

② 命令に従う。

マコ 1 : 27、ルカ 4 : 35~36

③ 人を出て他の場所を探す。

マタ 12 : 43~45

D. 代名詞の使用法

ギリシア語には、男性形、女性形以外に、中性形がある。

悪霊は、常に男性形の代名詞で表現されている。

マコ 5 : 6~13、ルカ 8 : 28~30

IV. 悪霊の起源

自由に動き回る悪霊と、閉じ込められた悪霊がいる。

サタンに付いて、墮落した天使たちである。

最初は、すべて自由な悪霊であった。

A. 自由な悪霊の起源

1. 悪霊と墮天使とは同じである。

a. サタンと同じ関係にある。

① 天使であるサタンは、「悪霊どものかしら」と呼ばれている。

マタ 12 : 24

② サタンは組織化された天使たちを支配している。

エペ 6 : 11~12

③ 悪霊は、「悪魔とその使いたち」と言われている。

マタ 25 : 41

④ 悪魔の使いたち（竜とその使いたち）と言われている。

黙 12 : 7~9

b. サタンも悪霊も、霊的存在である。

c. 同じ行動

人間に入ろうとする。

人間と神に対して戦いを挑む。

墮天使 黙 9：1～2、11、13～15

悪霊 黙 9：3～10、16～21

d. 同じ住みか

空中（宇宙空間）に住む。

エペ 2：2、6：12、黙 12：7～12

e. 聖書の文脈

悪霊と墮天使が同時に登場することはない。

いずれか一方だけである。つまり、悪霊と墮天使は同じということ。

2. サタンの墮落が天使にもたらした影響

エゼ 28：11～19

16節 「あなたの商いが繁盛すると」「By the abundance of your trading」

サタンは天使の間を行き巡った。

5つの「〇〇してやろう」を実現するため

イザ 14：12～14

サタンに従った天使が、悪霊となった。

①墮天使は最初の清さを失った。

②性質と行動が墮落した。

③サタンの悪霊となった。

B. 閉じ込められた悪霊

1. 一時的に閉じ込められた悪霊

人間から追い出された悪霊は、一時的に閉じ込められる。

ルカ 8：31

多くの悪霊が閉じ込められているが、大患難時代に解き放たれる。

5ヵ月間人間を苦しめる。

黙 9：1～11

2億の悪霊が解き放たれ、3分の1の人口を殺す。

黙 9：13～21

閉じ込められている場所は、アブソスである。

2. 永遠に閉じ込められた悪霊

a. 創 6：1～4

(1) 人類の増加（創 6：1）

「さて、人が地上にふえ始め、彼らに娘たちが生まれたとき」

「人」とは、全人類のこと

「娘たち」とは、女性のこと

(2) 雑婚（創 6：2）

「神の子らは、人の娘たちが、いかにも美しいのを見て、その中から好きな者を選んで、自分たちの妻とした」

(a) 神の子ら

旧約聖書では天使のこと

ヨブ 1：6、2：1、38：7

なぜ、創 6：1～4 だけが例外なのか。

新約聖書では意味が広がる。

アダム ルカ 3：38

信者 ヨハ 1：12、ガラ 6：15

(b) 人の娘たち

女性一般を指す言葉

①この結婚は一方通行：天使と人間の女性

②不自然な結婚で洪水の原因となった。

創 1～4 章 天使が原因

創 5～6 章 人間が原因

マタ 22：30 の問題

天にいる天使は結婚しない。

天使は若い男性の姿で登場する。

創 18：1～19：22、マコ 16：5～7、ルカ 24：4～7、使 1：10～11

サタンはなぜ墮天使を人間の女性と結婚させるのか。

創 3：15 メシア預言

創 6：1～4 預言成就の妨害

(3) 雑婚の結果 創6:3

(a) ネフィリム

巨人ではなく、墮落した者

七十人訳（前250年ごろ）

ギリシア語のギガンテス（ギリシア神話のタイタン）

英語のジャイアンツの語源

タイタンは、神と人間の結婚から誕生した存在。

ユダヤ人の学者たちは、ネフィリムの本質を理解していた。

超人であるが、巨人ではない。

聖書の物語がオリジナルで、ギリシア神話はその誤った解釈。

(b) ギボリム 勇士たち

誕生したのは、男性でも女性でもない。

また、人間でも天使でもない。

b. IIペテ2:4~5

4節 タータラス（暗やみの穴）

アブソスは、一時的に閉じ込められている悪霊たちの住みか

タータラスにいる悪霊たちは、白い御座の裁きを経て、火の池に行く。

5節 閉じ込められた時期

創6:1~4と関係がある。

c. ユダ6~7

6節 ある天使のグループの墮落

①「自分の領域を守らず」

②「自分のおるべき所を捨てた」

③「永遠の束縛をもって、暗やみの下に閉じ込められました」

④「大いなる日のさばきのために」

7節 彼らの罪の性質

ソドムとゴモラの罪

d. まとめ

V. 悪霊の数

①多数いる

マコ 5 : 9、15、ルカ 8 : 30 レギオン

黙 9 : 16 2億

②墮落した天使の数

黙 12 : 3~4 3分の1

天使は無数にいる。ヘブ 12 : 22~24

VI. 悪霊の組織

I コリ 15 : 24

支配、権威、権力

エペ 6 : 12

主権、力、この暗やみの世界の支配者たち

コロ 2 : 15

支配、権威

ダニ 10 : 13~20

ペルシヤの王たち

ダニ 10 : 20

ペルシヤの君

VII. 悪霊の特徴**A. 悪霊の本質**

①霊的存在

マタ 17 : 18、マコ 9 : 25

マタ 8 : 16、ルカ 9 : 38~39、42、10 : 17、20

ルカ 8 : 30

エペ 6 : 12

②体を持たない。

マタ 12 : 43~45、マコ 5 : 12

③形は持っている。

黙 9：7～10、17～19、16：13～14

④人間に入ろうとする。

マコ 5：1～13、使 16：16、19：16

B. 悪霊の力

①人間を内側から支配する。

マコ 5：1～5、使 19：16

②人間を苦しめる。

黙 9：1～21

③奇跡を行う。

黙 16：14

④見える形で現れる。

黙 9：7～10、17～19、16：13～14

C. 道徳性

①汚れた霊

マタ 10：1、マコ 1：23、27、3：11、5：2、9：25、ルカ 4：36、使 8：7、黙 16：13

②悪霊

ルカ 7：21

③激しい、乱暴

マタ 8：28

④下劣で悪意に満ちている

ルカ 9：39

⑤極端な悪意（敵意）

マコ 9：20

⑥偽の教理

Ⅰテモ 4：1～3

信仰から離れる、惑わされる、偽善、嘘、良心が麻痺、結婚することを禁じたり、食物を断つことを命じたりする。

⑦将来さらに不道徳になる。

ルカ 8：27

⑧サタンが支配する間に属する。

エペ 6：12

⑨悪に関して程度がある。

マタ 12：43～45

VIII. 悪霊の活動**A. 歴史**

- ①旧約聖書では悪霊の活動は少ない。
- ②福音書に入ると、急に多くなる。
理由：黙 12：1～5
- ③使徒の働き以降、旧約聖書のレベルに戻る。
- ④大患難時代に再度多くなる。

B. 一般的な活動

- ①神の計画の妨害
ダニ 10：10～14
黙 16：12～16
- ②サタンの手先
エペ 2：1～2、6：11～12
- ③神に用いられる
Ⅰサム 16：14
Ⅰ列 22：19～23 アハブの死
Ⅱコリ 12：7

C. 特別な活動

- ①諸国の支配
ダニ 10：10～14
ダニ 10：20～21
- ②肉体的病気
口がきけない マタ 9：32～33、12：22、マコ 9：17
耳が聞こえない マコ 9：25
背骨が曲がる ルカ 13：10～13
てんかん マタ 17：15～18、マコ 9：20、ルカ 9：37～42
盲目 マタ 12：22

個人的な傷 マコ 9 : 18

すべての病気が悪霊によるというわけではない。

人間の弱さゆえに病気になることもある。 マタ 4 : 24、 8 : 16

③狂気

マコ 5 : 15、 ルカ 8 : 26~27

④肉体的力

マコ 5 : 1~4、 ルカ 8 : 29

⑤自殺の原因

マコ 9 : 22

⑥動物に入る

マコ 5 : 12~13

⑦偶像礼拝

レビ 17 : 7、 イザ 65 : 11、 申 32 : 17、 ゼカ 13 : 2、 ホセ 4 : 12

使 17 : 22、 I コリ 10 : 20

⑧悪魔礼拝

黙 9 : 20~21

⑨不潔と不道德の原因

ルカ 8 : 27

⑩偽の教理

I テモ 4 : 1、 ヤコ 3 : 15、 I ヨハ 4 : 1

⑪信者の成長を妨げる。

エペ 6 : 12

⑫信者を神の愛から切り離そうとする。

ロマ 8 : 38

D. オカルト的活動

1. ギリシア語

- ①デイシダイモニア 使 25 : 19
- ②デイシダイモネステロス 使 17 : 22
- ③ダイモニオデイス ヤコ 3 : 15

オカルトの意味

- 覆われているもの
- 隠されているもの
- 秘密にされているもの
- 不思議なもの

2. オカルト世界の存在

a. 申 18 : 9~14

- ①占い
- ②ト者（動物の内臓を読む）
- ③まじない師
- ④呪術者（天文学も含む）
- ⑤呪文
- ⑥霊媒
- ⑦口寄せ（男の魔法使い）
- ⑧死人に伺いを立てる者

b. 使 8 : 9

魔術師

c. 使 16 : 16

占いの霊（プソンの霊）
 プソンは蛇のこと。
 蛇はサタンと関係している。

創 3 : 1~15、黙 12 : 9、20 : 2

3. オカルトの特徴

- ①悪霊の世界と関係している。
- ②過去、あるいは未来についての隠された知識を明らかにする。
- ③力の付与を約束する。
- ④子孫（3代、4代）に悪霊の支配を継承する。

出 20：3～5

偶像礼拝の罪の影響

⑤受動的態度が必要。

4. オカルトの罨

a. 心霊術

- ①物理現象がある。
- ②霊的現象がある。
- ③超自然現象がある（亡霊の出現など）。
- ④魔術現象がある。

民 22：6～7、24：1

ヨシ 13：22 占い師のバラム

⑤カルト的現象がある。

心霊的カルト、心霊術そのもの、死者との交流

Ⅰサム 28：3～4、Ⅰ歴 10：13、イザ 29：4

b. 占い

未来を予言する。

①しるしや兆しを読んで予言する。

エゼ 21：21

②悪霊からの情報で予言する。

使 16：16～18

4つの用語（すべてダニエル書）

呪法師、呪文師、呪術者、カルデヤ人

ダニ 1：20、2：2、10、27、4：7、5：11、15

種々の形を取る。

①占星術

申 17：2～7、Ⅱ列 23：5、イザ 47：12～13、エレ 10：2、アモス 5：25～26、

使 7：41～43

②トランプ占い、タロットカード

③サイコメトリー（人間や物体に触れることにより、情報を読み取る）

④手相占い

⑤占い棒（水脈探知）

⑥杖、振り子、地図を用いて宝や人を探す。

⑦預言的夢や幻

エレ 29：8～9

⑧ウイジャ盤（霊界との交信を行うボード）

⑨水晶玉

⑩千里眼

創 44：5、イザ 47：9

c. 魔術

悪霊を用いて超自然的な現象をもたらすもの
種々の形を取る。

①黒魔術

②白魔術

③自然魔術

④テレパシー

⑤犯罪的催眠術

⑥魔術的癒し（手を触れて） メスメリズム

⑦癒しの魔術

⑧愛憎の魔術

⑨呪いの魔術（ハイチのブドゥー教）

⑩豊穡のお守り

⑪サタンを縛ったり解いたりすること

⑫死の魔術

⑬お守り

創 35：4、士 8：21、26、イザ 3：18.

5. 聖書とオカルト

聖書はオカルトを禁止している。

出 22：18、レビ 19：26、31、20：6、27、申 18：9～14、Ⅰサム 15：23、
Ⅱ列 21：6、イザ 8：19、エレ 29：8～9、ミカ 5：12、使 19：18～20

6. オカルトの実行

禁止されていても人々はこれを行った。

創 41：8、出 7：11、Ⅱ列 9：22、17：17、23：24、Ⅱ歴 33：6、
イザ 19：3、エレ 27：9～10、エゼ 21：21、
ダニ 1：20、2：2、27、4：7、5：11、ネヘ 3：4、マラ 3：5、
マタ 7：22～23、使 8：9～11、13：6～11、19：19、ガラ 5：20、Ⅱテモ 3：8

IX. 悪霊の支配**A. 悪霊の支配の定義****1. キーワード**

ダイモニゾマイ（悪霊化する、悪霊に支配される）

英語の「possession」という訳語は間違っている。

マタ 4 : 24、8 : 16、28、33、9 : 32、12 : 22、15 : 22

マコ 1 : 32、5 : 15~16、18

ルカ 8 : 36

ヨハ 10 : 21

2. キーになる表現

「悪霊を持っている（to have a demon）」（悪霊につかれている）

マタ 11 : 18

ルカ 7 : 33

ヨハ 7 : 20、8 : 48、10 : 20

使 8 : 7、16 : 16

3. 定義

「悪霊の支配とは、ある人の中に悪霊が住み、ある種の精神的錯乱や肉体的不調を用いて、その人を直接的に支配している状態のことである」

マタ 12 : 43~45

マコ 5 : 1~20

4. 区別の必要性**a. 悪霊の攻撃（外からのもの）**

ロマ 15 : 22

1テサ 2 : 18

b. 悪霊の影響

マタ 16 : 21~23

5. 信者は悪霊に支配されるか。

悪霊の所有物にはならない。

1コリ 6 : 20

しかし、悪霊が内側から信者を支配することはある。

①使 5：1～4（エペ 5：18 参照）

②エペ 4：27

上陸地点

信者と未信者の違いは、支配の度合いの違いである。

信者には 2 つの性質がある。

聖霊は、新しい性質の内に宿る。

悪霊は、罪の性質の内に宿る。

悪霊の支配は、繰り返される。

マタ 12：43～45

ルカ 11：24～26

B. 悪霊の支配の兆候

兆候があるというだけでは、悪霊の支配を証明したことにはならない。

判断するためには、バランスが必要である。

1. 肉体的な病気

マタ 9：32～33

使 5：16

2. 精神的な錯乱

マタ 17：15

ダニ 4：1～37（悪霊が原因ではない錯乱の例）

3. 強うつ状態

4. 自責の念

5. 自殺

6. 受動的姿勢

7. 不道德
8. 苦々しさ
9. 薬物中毒
10. 霊能者のような力
11. 動物のような傾向性
12. 聖書を読むと、落ち着きをなくす。

13. 多重人格

マコ 5 : 1~20

- ①汚れた霊につかれた人（悪霊が内に住んでいた） 2 節
- ②異常な肉体的力 3 節
- ③怒り 4~5 節
- ④多重人格 6~7 節
- ⑤霊的なことへの反発 7 節
- ⑥過剰に敏感で鋭い 7 節
- ⑦声の変化 9 節
- ⑧悪霊の移動 13 節

C. 悪霊の支配の原因

1. 両親から受け継いだ。

モーセの律法の時代

出 34 : 6~7

今の時代、モーセの律法は信仰生活の原則ではない。

最近、「先祖の呪いを断ち切る」ことを強調する人がいるが、聖書的ではない。

契約の民イスラエルに適用される教え

異邦人には適用されない。

イエスを信じた瞬間に、先祖の呪いから解放されている。

今は、キリストの律法が与えられている。

ロマ 6 章の原則

2. 試してみた結果、支配される。

Ⅰコリ 10：14～22

3. 影響を受けた。

マコ 5：13

4. 告白していない罪がある。

エペ 4：27

D. 悪霊の支配かどうかのテスト

Ⅰヨハ 4：1

1. メシアの受肉

Ⅰヨハ 4：2～3

2. メシアは主なり。

Ⅰコリ 12：3

「主」とは旧約聖書のヤハウェ

3. メシアの血

Ⅰヨハ 5：6～7

以上の3つのテストは、悪霊が完全にその人を支配している時にのみ有効である。

E. 悪霊の支配からの解放

1. 未信者

①メシアを信じること

2. 信者

②罪の告白の祈りをする。

③元に戻ってしまった場合は、放棄の祈りをする。

④オカルトの道具を捨てる。

使 19：19

⑤抵抗する。

F. 悪霊の追い出し

1. 追い出しの例

①イエスによる追い出し

マコ 1 : 23~27、32~34、39、3 : 11~12、5 : 1~20、7 : 25~30、9 : 17~29

②12使徒による追い出し

マタ 10 : 1、マコ 3 : 14~15

③12使徒以外による追い出し

ルカ 10 : 17

④イエスといつも行動をともにしたわけではない信者による追い出し

マコ 9 : 38~39、ルカ 9 : 49~50

⑤使徒の働きの中での追い出し

ペテロ 使 5 : 16

ピリポ 使 8 : 7

パウロ 使 16 : 16~18、19 : 11~12

2. 追い出しの方法

①イエスの御名による

ルカ 10 : 17

②聖霊の力による

マタ 12 : 28

③単純な言葉で命令する。

マタ 8 : 16、マコ 5 : 8

④信仰によって行う。

マタ 17 : 18~20

⑤もの言わぬ悪霊の場合は、祈りによる。

マコ 9 : 29

3. 未信者も信者も、追い出しができるか。

a. 未信者

未信者には追い出しの力はない。

信者がせねばならない。

b. 信者

他人の力を借りなくとも、自分で追い出すことができる。

サタンに対して、立ち向かう。

ヤコ4:7、1ペテ5:8~9、エペ6:10~18

エペ6:10

「キリストにあって」

イエスをメシアとして信じた人には、33のことが起こる。

すべてある種の権威に関係したことである。

「キリストにあって」の意味を学ぶべきである。

X. 悪霊と信者**A. 悪霊は聖徒に敵対する。**

①一般的な敵対

エペ6:12

エペ2:2

②特定の個人への敵対

エペ2:3

③地域教会への敵対

黙2:24

B. 神は悪霊を用いる。

信者の成長のために、悪霊が外から攻撃することは許す。

IIコリ12:7

C. 悪霊は十字架で敗北した。

コロ2:15

信者の同意がないと、悪霊は働けない。

D. 信者には責任がある。

①霊を見分ける。

| ヨハ4：1～4

②オカルトから分離する。

レビ19：31、申18：9～14、イザ8：19

③悪霊にかかわっている人と交わらない。

| コリ10：20

④神の武具を身につける。聖書。

エペ6：10～18

XI. 悪霊の将来の活動**A. 教会**

誤った教理を広げる。

| テモ4：1～3

B. 大患難時代

悪霊の活動が福音書の時代のように活発になる。

1. 悪霊による侵略

①黙9：1～11

5ヵ月間、人々を苦しめる。

②黙9：16～19

3分の1の人が殺される。

2億の悪霊が動員される。

2. 悪霊礼拝

黙9：20～21

3. 地に落とされる

サタンと同じ運命

黙12：7～12

大患難時代の後半

4. ハルマゲドンの戦い

諸国の軍隊を招集する。

黙16：13～14

XII. 悪霊の運命**A. 千年王国**

閉じ込められる。

イザ 24 : 21~22

サタンはアブソスに閉じ込められる。

悪霊はそうではない。

①最初のグループは、エドムの地に

イザ 34 : 13~15

ここにいるのは、動物ではなく悪霊どもである。

②次のグループは、バビロンに

イザ 13 : 21~22、黙 18 : 2

以上の2カ所は、千年王国の間中、荒廃している。

千年王国の間、悪霊の活動はない。

B. 永遠の秩序

①すべての悪霊は、白い御座の裁きで、信者によって裁かれる。

1 コリ 6 : 3

②火の池に投げ込まれる。

マタ 8 : 29、25 : 41、46

フルクテンバウム・セミナーDVD／CD

2010年『**天使論、サタン論、悪霊論**』テキスト付 DVD 8枚組／CD 8枚組 6,400円

2009年『**終末論とイスラエル**』テキスト付 DVD 8枚組／CD 8枚組 6,400円

<内容> ロマ書9章～11章の研究

イントロダクション I.イスラエルの（メシア）拒否の神学

II.イスラエルの（メシア）拒否の説明 III.イスラエルの（メシア）拒否にある慰め

ロマ書とユダヤ人

イントロダクション I.ロマ1：16～17 II.ロマ2：9～10 III.ロマ2：17～3：9

IV.ロマ15：8～9 V.ロマ15：25～27

2008年『**神の人類救済プログラム**』テキスト付 CD 8枚組 6,400円

<内容> ディスペンセーションナリズムの立場から学ぶ

1.ディスペンセーションとは何か 2.ディスペンセーションの種類

3.契約神学（置換神学の主流）4.解釈学 5.救済論 6.教会論 7.終末論

2007年『**三位一体**』テキスト付 CD 4枚組 3,200円

<内容> イントロダクション 1.神の位格の複数性 2.神の位格の単一性 3.三位一体の神 4.結論

2007年『**旧約聖書におけるメシア預言**』テキスト付 CD 4枚組 3,200円

<内容> イントロダクション 1.律法 2.預言書

2006年『**イスラエル学**』テキスト付 CD 8枚組 4,900円

<内容> 1.過去のイスラエル 2.現在のイスラエル 3.将来のイスラエル 4.その他の関連事項

2005年『**ユダヤ的視点から見たメシアの生涯**』テキスト付 CD 12枚組 8,000円

<内容> 1.その誕生と成長過程 2.イエスの教えとパリサイ人との葛藤

3.メシアの裁判 4.メシアの死 5.復活と昇天

2003年『**ヨハネの黙示録**』テキスト付 CD 6枚組 4,700円

<内容> 1.ヨハネが見たこと 2.今ある事 3.この後に起こること 結論

2002年『**聖書の八つの契約**』テキスト付 CD 9枚組 7,000円

<内容> はじめに 1.エデン契約 2.アダム契約 3.ノア契約 4.アブラハム契約

5.モーセ契約 6.パレスチナ契約 7.ダビデ契約 8.新しい契約 結論

2001年『**イスラエルの祭りに隠されたイエス・キリスト**』テキスト付 CD 10枚組 6,000円

<内容> 1.過越の祭り 2.種を入れないパンの祭り 3.初穂の祭り 4.七週の祭り(ペンテコステ)

5.春の祭りと秋の祭りの間の4か月 6.ラッパの祭り 7.贖罪の日 8.仮庵の祭り



無断複製・転載を禁じます

2010年5月開催